

ものみの郷

Vol. 54

ニュースレター

2021年11月号



10月吉日、入所フロアでは秋恒例の「運動会」を開催しました。「エイエイオー！」と両組ともにやる気満々！日頃のリハビリの成果もあり、活気溢れる元気な声が飛び交い、白熱した運動会となりました。



COFFEE BREAK



暖かな昼下がり、外気浴をしながらお茶会を開きました。今回は“クッキーワッフル”をご賞味。「外で食べるのも良いもんだね～」と喜んでいただきました。

介護老人保健施設
ものみの郷

医療法人 紀川会

入所・デイケアのご利用については下記までご連絡ください。ご相談をお受けいたしております。

☎ 0745-34-0701 担当: 吉岡・表野

FAX 0745-34-0715

今後のイベント

- 🌸 11/22(月) 2階出張理美容
- 🌸 12/6 (月) 3階出張理美容
- 🌸 12/20(月) 2階出張理美容

※出張理美容は、新型コロナウイルス感染拡大状況により延期となる場合がございます。



お楽しみグルメのコーナー

『季節御膳』 11月16日(月)昼食



認知症の方とのコミュニケーション《4つの基本》

こんにちは、理学療法士の中島です。

- ・何度説明しても、同じ質問ばかりする
- ・間違っことを主張して譲らない
- ・理不尽な怒りや暴言をぶつけてくる



理学療法士
中島

認知症の方との「コミュニケーション」の難しさは、身近でお世話されている方でしたら、誰もが感じる事だと思います。意思疎通がうまくいかず、もどかしい思いがつのり、冷静に接することができないことがあっても不思議ではありません。

認知症の方とのコミュニケーションでは、声の調子や、手ぶり、身振り、身体接触などが効果的と言われています。

① 落ち着いた穏やかな雰囲気を作る

伝えたい事柄については、絵や写真をみせたり、動作で示すと伝わりやすくなります。

肩や手に触れるなどボディータッチも有効です。相手の真正面ではなく、少し斜め前に座ることで安心感を与え、体にも無理なく触られます。

② 相手のペースに合わせる

「私はあなたの話をしっかり聴いています」という相手を尊重した姿勢で、柔軟に合わせていくようにします。

③ 短い文、簡単な表現、具体的な内容にする

「あれ・それ・これ・どれ」ではなく、具体的に伝えます。

(例：それを取ってください⇒タオルを取ってください)

難聴のある場合は、耳元でやや低い声ではっきり話すようにします。

④ 相手のプライドを傷付けない

認知症の方に対して、禁止や否定は禁物です。言葉の間違いや勘違いを訂正するのではなく、何を訴えているのか、今どんな気持ちでいるのかといった心理を理解するように努めます。

家族以外の人とのおしゃべりは格好の脳トレに！
ディケアは多くの人とかがわる絶好の場です。

家族以外の人と会話する時は、

「自分より年上かな？」

「どんな話題がいいかな？」

と考えをめぐらせます。それだけで脳はフル回転し、格好のトレーニングになるのです。同年代の人だけでなく、若いスタッフとの会話を楽しむこともでき、気持ちまで若返ります。



防災訓練

10月27日(水)、厨房からの出火を想定した防災訓練を実施しました。①出火確認による通報訓練 ②利用者様の安全確保のための避難訓練 ③水消火器での消火訓練。今後も訓練を重ね、有事の際に迅速・冷静な対応が出来るよう職員の防災意識を高めていきたいと思ひます。

